

# 本校が「おはなし会」をする理由

宮津市立吉津小学校

## 1 「学びに向かう力」が高まるから

自分の生活の身近なことから「話題」を考え話します。自分で話題を決め、どこまで話すかを判断します。友達のいろいろな話題に触れ、頭の中でイメージします。下にしたことを総合して、子ども達の「学びに向かう力」が高まります。

## 2 自分の考えを堂々と話すことができるようになるから

どんな内容の話をしていてもよい会です。自分なりに見つけたことや考えたことを話します。「何を話してもよい」という、あたたかい雰囲気の中で聞いてもらえるからこそ、堂々と話すことができます。受け入れられているという感覚は、自己肯定感を高揚させます。

## 3 人の話を興味を持って聞くことができるようになるから

友達の身近な話は、自分にもどこかでつながりがある興味深い話です。友達の話とのつながりを探しながら興味を持って聞くことができます。話している人の表情を見たり声のトーンもしっかり聞いたりでき、友達の気持ちも考えられます。

## 4 疑問に思ったことを何でも「たずねる」ことができるようになるから

友達の話題の中には、自分の知らない言葉や事柄が出てきます。「それは何？」とたずねることは、小さな問題解決です。毎日、小さな問題解決をしながらイメージを膨らませたり、物事の見方や考え方を自然に学びます。また、自分の話題におたずね(質問)をされた時、説明するのはうれしいものです。自分の話題にたずねられることで「たずねる」こと(問題解決)の価値が上がります。

## 5 気付きの質を高めることができるから

「今日の〇〇さんの話は面白かった。自分でも調べてみよう。」「いつ、どこで何をしたかがよくわかる。」「〇〇君の声はよく聞こえない。自分も大きな声で言おう。」など、毎日話を聞きながら、よりよい話し方等に気付いて、自分で修正します。さらに、そのことを先生からほめられると、「気付くことの価値」「気付いた物事の価値」「気付きの質」が高まります。

## 6 毎日、話す(学ぶ)ことが当たり前になるから

身近な話だからこそ、四季の移り変わりや社会の変化、学習の内容によって、自然と話題が変わるので、話の内容に飽きることなく話し(学び)続けることができます。

※1年生の入学式の翌日から始めます。全員が話します。最初は、話せなくてもいいです。友達の話す様子を見て「まね」をしてもいいです。話せるようになれば話してもらいます。

※全員が話すことは、言い換えると「だれもが話せる機会」でもあり、子ども達の意欲を削ぐことなく、毎日の穏やかであたたかい雰囲気の中で、自然に多くの力が付く取組です。

※この「おはなし会」では、テーマトーク(テーマに沿って話す。サイコロトークなど。)はしません。なぜだかわかりますよね。